

令和5年度 島根県学力調査・江津市学力調査結果概要

江津市教育委員会

1. 小学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

・小5, 6国語・算数は島根県調査のため県平均値と比較
 ・小3, 4国語・算数, 小5, 6社会・理科は江津市独自調査(東京書籍標準学力調査)のため、目標値と比較
 ＊目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	小3		小4		小5				小6			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科
江津市	60.0	61.5	60.8	62.8	70.7	56.2	61.0	59.9	61.1	70.9	62.5	63.9
目標値	67.6	68.4	63.8	64.2	68.3	60.6	66.2	63.8	64.0	71.7	61.3	66.3
島根県	-	-	-	-	67.4	55.0	-	-	59.1	67.4	-	-

国語	【小3、4】目標値を下回り、特に「文章を書く」に課題がある。 【小5】県平均値を上回り概ね良好な状況である。【小6】県平均値を上回り概ね良好な状況である。
算数	【小3】目標値を下回り、「わり算」「かけ算」に課題がある。 【小4】目標値を下回り「小数」「角の大きさ」に課題がある。 【小5】県平均値を上回り概ね良好な状況である。【小6】県平均値を上回り概ね良好な状況である。
社会	【小5】目標値を下回り、「世界の中の国土」「日本の工業生産」に課題がある。 【小6】目標値を上回り概ね良好な状況である。
理科	【小5】目標値を下回り、「天気の変化」「植物の発芽と成長」に課題がある。 【小6】目標値を下回り、「動物のからだのつくりとはたらき」「月と太陽」に課題がある。

【意識調査結果】(5, 6年)

強み	<ul style="list-style-type: none"> ・(国語)「話し合いて、自分の考えを積極的に話している」「話し合いて、相手の話をしっかり聞き取っている」「伝えたいことを明らかにして、文章を書いている」「物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5, 6年) ・(算数)「算数の勉強が好きだ」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5年) ・「学校が好きである」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5, 6年) ・「自分が住んでいる地域が好きである」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5年) ・「自分は友達、先生、家の人から認められている」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5, 6年) ・「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5, 6年) ・「学校図書館の資料を使った授業は、ほかの授業を行う時にも役立っていると思う」と回答した児童の割合が県を上回っている。(5, 6年) ・「今年度の授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっていた」「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたり、やってきた宿題にコメントをしてくれたりしている」と回答した児童の割合が県を上回る。(5, 6年)
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の記事を読んでいる児童の割合が県を下回る。(5, 6年) ・平日、(PC、スマートフォン等を使った)ゲームや動画視聴を2時間以上する児童の割合が県を上回る。(5, 6年) ・今年度の授業でコンピュータ・タブレットなどのICTを活用したと回答した児童の割合が県を下回る。(5, 6年)

2. 中学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・中1,2国語・数学・英語は島根県調査のため県平均値と比較
- ・中1,2社会・理科は江津市独自実施(東京書籍標準学力調査)のため目標値と比較
- *目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	中1					中2				
	国語	数学	英語	社会	理科	国語	数学	英語	社会	理科
江津市	65.5	55.5	51.1	58.8	60.7	65.7	44.9	42.9	42.5	54.2
目標値	57.3	56.4	54.4	58.3	60.5	63.5	52.8	50.6	46.0	56.8
島根県	60.1	51.9	51.0	-	-	66.1	47.4	47.2	-	-

国語	【中1】県平均値を大きく上回り、概ね良好な状況である。【中2】県平均値とほぼ同程度である。
数学	【中1】県平均値を上回り、概ね良好な状況である。 【中2】県平均値を下回り、「1次関数」「図形の性質」に課題がある。
英語	【中1】県平均値とほぼ同程度である。【中2】県平均値を下回り「リスニング(対話文)」「英作文」に課題がある。
社会	【中1】目標値とほぼ同程度である。【中2】目標値を下回り、「江戸時代」に課題がある。
理科	【中1】目標値とほぼ同程度である。【中2】目標値を下回り、「化学変化と物質の質量」に課題がある。

【意識調査結果】

強み	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の勉強は好きだ」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(1,2年) ・「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(1年) ・「自分のことが好きである」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(1,2年) ・「自分は友だち、親から認められていると思う」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(1,2年) ・「家の人から言われなくても、進んで勉強している」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(2年) ・「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたりやってきた宿題にコメントをしてくれたりしてくれる」と回答した生徒の割合が県を上回っている。(1,2年) ・平日(PC、スマートフォン等を使った)ゲームや動画視聴を2時間以上する児童の割合が県を下回っている。(1年)
弱み	・今年度の授業でコンピュータ・タブレットなどのICTを活用したと回答した生徒の割合が県を下回る。(1,2年)

3. 今後の取組

○学校で子ども達が学んだことが人生や実際の生活で生きるように確かな学力と主体的に学び続ける意欲を育む教育を推進する。

○ICT等の効果的な活用を推進し、子ども達が自らの学び方等を選択するなどして学びを自己調整できるような教育環境の整備を推進する。

◇調査結果の活用◇

- ・「各教科調査結果」「生活・学習に関する意識調査」の結果をもとに、今年度の各校「学力育成推進プラン」等の成果及び課題を把握し、取組改善を図る。併せて次年度の学力育成担当者、担任等へ結果及び対策を引継げる体制を整える。
- ・児童生徒の学習内容定着状況を確認し、それぞれの児童生徒への実態に応じた補充学習や発展学習等、組織的な指導を充実させる。

◇授業の質の充実◇

- ・必要な資質能力が適切に育成される授業実践をする。学習内容の系統性、小中での連続性を大切にし、特に「思考力・判断力・表現力」を育成する取り組みを充実させるために「情報と自分の考えを結び付けながら根拠をもって説明する」「複数の情報を整理・分析し自分の考えを形成・表現につなげる」等の学習場面を効果的に取り入れる。
- ・1人1台端末や学校図書館等を活用し、児童生徒が自らの学び方を見出すことができるような授業展開を行う。

◇家庭学習の充実◇

- ・学校と家庭での子ども達の学びが連続し、理解がより深まるように授業と家庭学習をつなぐ課題を設定する。
- ・個に応じた学習内容や方法を選び、学びを深めていけるように家庭学習を充実させる。(1人1台端末の活用を含む。)
- ・学校と家庭と連携を大切にし、家庭学習の在り方等を共通理解しながら習慣化を図る。

◇地域に関わる学習の充実◇

- ・児童生徒が興味・関心に基づいた地域や学校の特色を生かした課題を見出し、主体的に学び、考えようとする意欲の醸成を図るために地域の人・もの・ことを効果的に活用する。
- ・「総合的な学習の時間」が他教科で学んだことを実際に活用する場面になるよう、カリキュラムマネジメントの推進を実施する。

◇学校訪問の実施◇

- ・指導主事による県学力調査結果をふまえた指導改善に関わる学校訪問を実施する。